

伊賀街道

伊賀街道の概要

伊賀街道・大和街道が通る伊賀国は、伊勢・近江・山城・大和の国々に囲まれた山国で、上野盆地に入るためには、どの道を通っても険しい山を越えなければならなかったと同時に、伊賀国を通らなければ相互の連絡に不自由するという交通の要衝であった。

伊勢国と伊賀国にまたがる伊賀街道は、津から橡ノ木峠とも呼ばれた長野峠を越えて上野に至る全長約12里（約50キロメートル）の街道で、現在の松阪市中林町（旧三雲町）の月本の追分を起点とする奈良街道（古くは「伊賀越奈良道」と重なる部分が多い。道は現在の国道163号に沿う形で通っており、今でも国道沿いのあちこちに、かつての街道の面影が残っている。

津城下を出発し、長野峠、上野、島ヶ原と抜けるこの街道は、東海道のような主要幹線道ではなく、京都、大和、山城方面と伊勢神宮を結ぶ参宮の道と

しての性格を備えた地方路のひとつに過ぎなかったが、慶長13年（1608）に藤堂高虎が伊勢・伊賀二国の大名として移封され、津を本城に、伊賀上野を支城したため、津を起点に藩のふたつの拠点を結ぶ津藩内の最も重要な官道として整備された。これが現在の伊賀街道である。

街道には伊勢国側に前田宿（後の片田宿）、長野宿、伊賀国側に上阿波宿（後に平松宿）、平田宿があり、宿には公亭とも御茶屋とも呼ばれる藩主の休泊所が設置され、伊賀街道の官道としての性格を物語る。宿場の西に設けられた火除土手は、津藩の街道の特徴で、かつてはどの宿場にもあったと思われるが、現在は北長野のものが現存するのみである。

また、この街道は、上野経由で伊勢に向かう参宮の旅人が利用したりしたが、参宮道や官道としてだけでなく、津方面からは水産物や塩が、伊賀方面からは種油や綿などが津へと運ばれ、その一部は江戸まで船で運ばれるなど、伊賀・伊勢両国の物資や人が行き交う経済・生活の大動脈としての役割も担っていた。このため、街道沿いは宿場を中心に賑ったという。多くの文人墨客や俳聖・松尾芭蕉も長野峠越の道を利用し、街道筋にはいくつもの句碑が建てられている。



(1) 津 (津市西丸之内～南河路)



12 薬師寺
那智参詣曼陀羅図
(県指定文化財)がある。



11 街道の名残の大木



10 延命地藏尊
納所橋入口にある。



4 六阿弥陀



3 子安地藏尊
観音寺境内にある。



2 琴平大権現
観音寺境内にある。



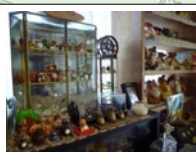
1 慈眼院観音寺



6 谷川士清墓
津市指定史跡



5 反古(ほご)塚
津市指定史跡



13 大当り狸御殿



9 谷川士清旧宅



8 山口誓子句碑



7 長谷川素逝句碑

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ

街道沿いの
大木が
目印

三叉路
を右へ

約 1200 m

約 1200 m

(2) 五軒町

(津市殿村～片田志袋町)



5 坂本山古墳公園



4 忠盛塚
平忠盛誕生の地。県指定史跡。



2 石柱
「新四国霊場八十八カ所 此ヨリ三丁」



3 小林一茶句碑



1 さんし
堤防が一段低くなっているところ。城下を洪水から守るため造られたもので、大水の時はここを切って岩田川に水を流した。

伊勢自動車道

約 650 m

約 200 m

茶屋・もち屋
という屋号を
残す家がある

現在、
街道は残って
いない

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他
- 文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ

(3) 片田・前田宿

(津市片田井戸町～片田久保町)



12 津市水道資料館



11 常夜燈
久保町集会所の前庭にある。



10 道標
道の分岐点にあり、光善寺・栗師堂・観慶寺への方角と距離を示す。



4 道標地蔵
「左へきひさい」



3 道標地蔵



2 山の神
八乳合神社境内にある。



1 八乳合神社
片田村地区の神社を合祀している。



8 旅籠屋「野田屋」
連子格子の家。現在は廃業。他にも「久保屋」があった。



7 土蔵
この付近は町垣内と呼ばれ、宿場の間屋場や札場があった。



6 常夜燈
街灯が付いている。旅の安全と伊勢神宮に対する信仰として村人が建立した。



5 道標
道標地蔵の隣。



9 旅籠屋「徳田屋」
連子格子の家。裏に土蔵がある。現在は廃業。他にも「片田屋」「伊賀屋」などがあった。

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ

約 1200 m

約 550 m

約 600 m

(4) 五百野 (津市美里町五百野～足坂)

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ



9 延命地藏尊・供養塔・一石五輪塔
国道163号脇に移動している。



8 西方寺
天台真盛宗。街道はこの寺の南側を通っている。



4 石柱
「従是南一志郡」



3 常夜灯
天保3年(1832)と刻まれている。



2 道標
「右さんぐう道左なら大さか道」天明6年(1786)と刻まれている。津市指定有形民俗文化財。



1 吹上坂
伊賀街道の難所のひとつだった。



6 五百野屋女古墳碑



5 道標
「右さんぐう道 右津道」



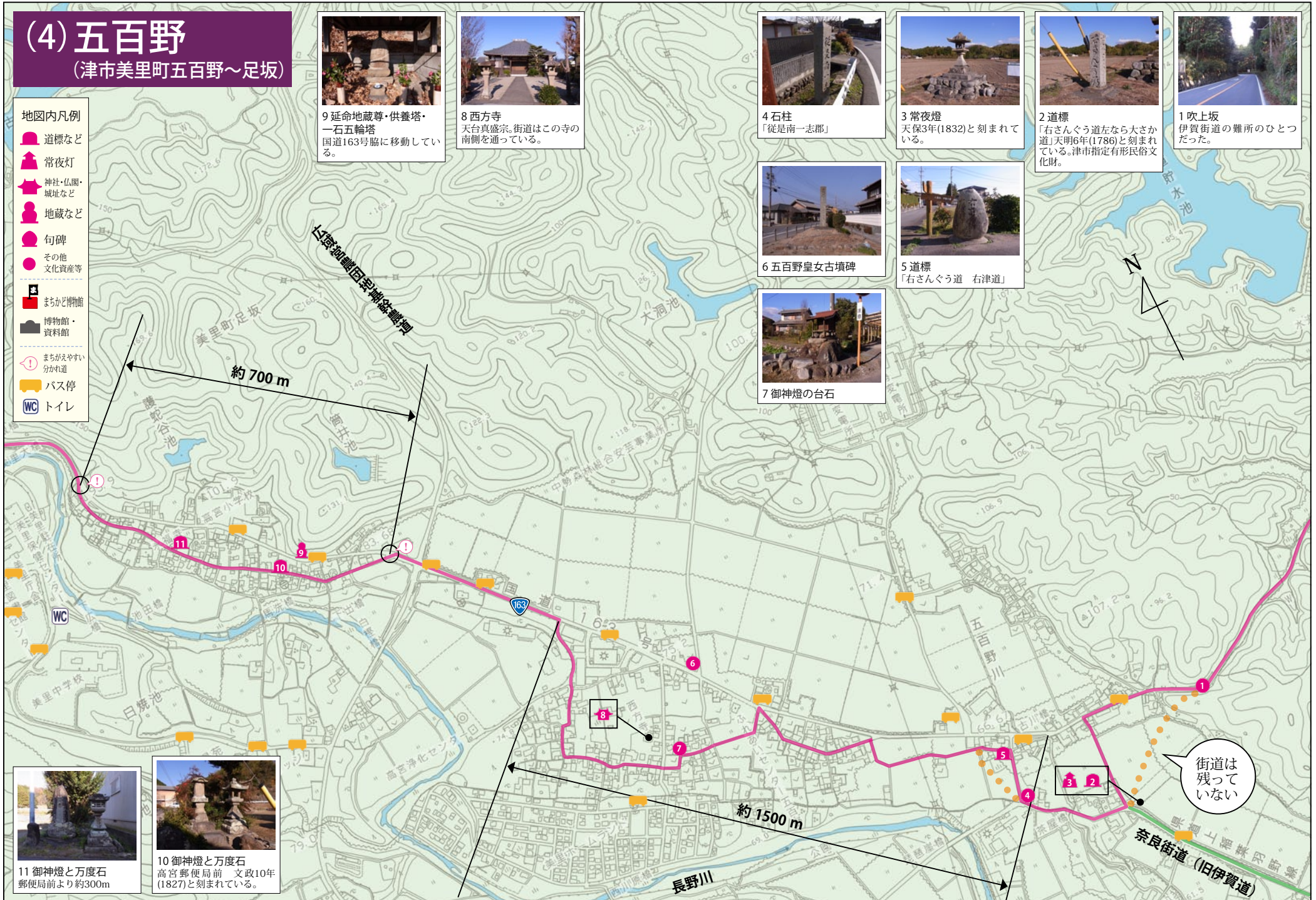
7 御神燈の台石



11 御神燈と万度石
郵便局前より約300m



10 御神燈と万度石
高宮郵便局前 文政10年(1827)と刻まれている。



街道は残っていない

奈良街道(旧伊賀道)

(5) 三郷

(津市美里町三郷～北長野)



8 十一面千手観音
供養塔のそばにある。



7 供養塔二基(観音寺)



6 貝石山
第三期中新世の堆積層で、
貝等の化石が見つかる。
県指定天然記念物。



1 御神燈
明治10年と刻まれている。



2 供養塔
御神燈のそばにある。



3 弁天さん
国道163号南。



4 長野川の景観
新開橋付近。



5 街道のなごり

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ

約1000 m

約800 m

街道は残っていない

(6) 長野宿

(津市美里町北長野～平木)

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地藏など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ



10 常夜灯
てんのうさんへ登る石段の
前にある。かつて、街道沿いの
平木口近くにあった三舟
神社に寄進されたもの。津市
指定文化財。



9 馬頭観音
地藏のように見える、
近くの人が守っている。



6 火除土手
防火の役割を果たしてい
た。



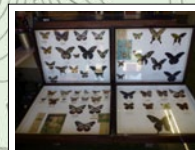
3 津市美里ふるさと
資料館



1 目無地藏尊
経ヶ峰の中腹にあり、毎年
7月24日には信者が訪れる。



7 石柱
「頌徳碑・供養塔・常夜灯」と
刻まれている。
火除土手の上。



4 ふるさとの蝶博物館



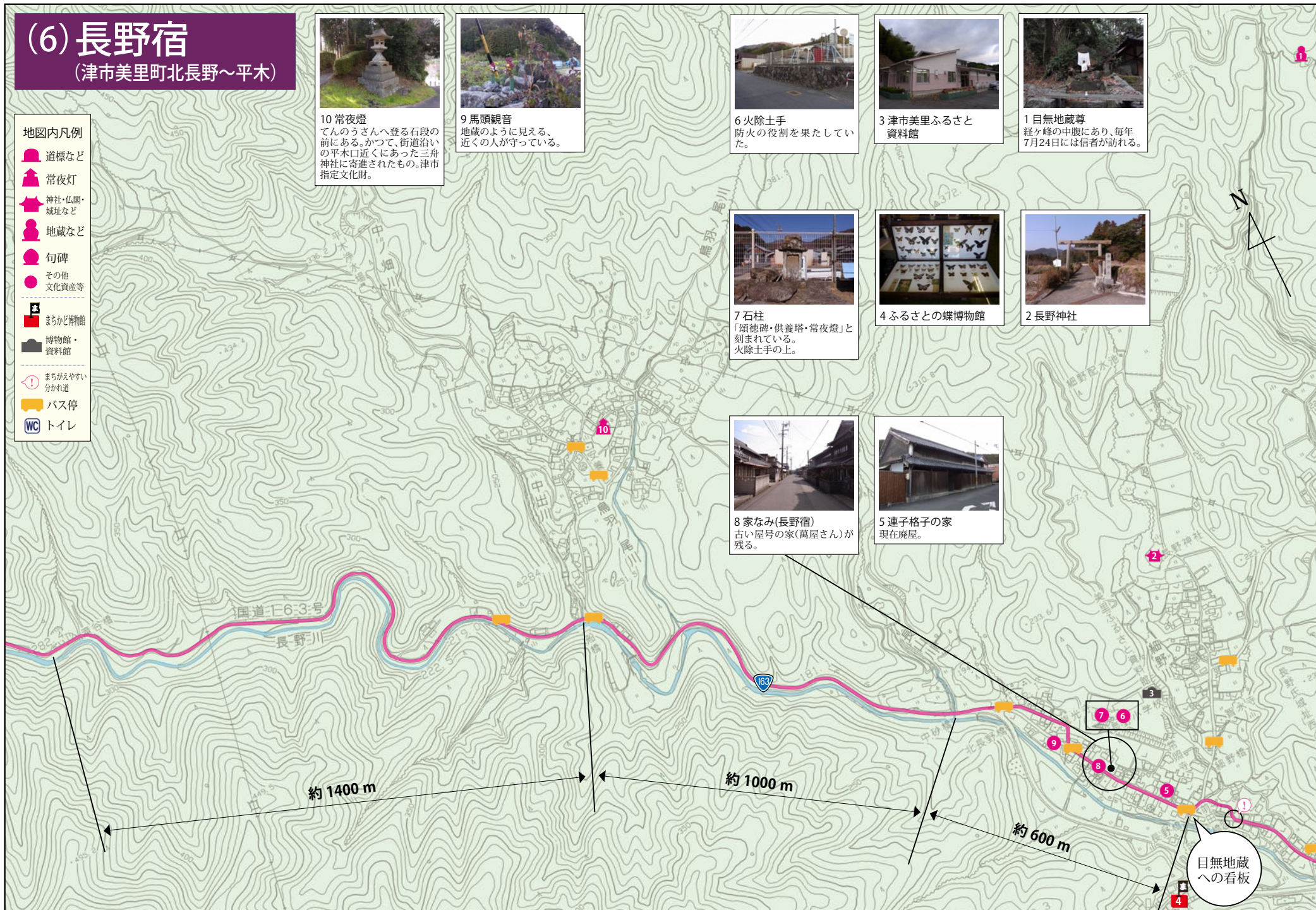
2 長野神社



8 家なみ(長野宿)
古い屋号の家(萬屋さん)が
残る。



5 連子格子の家
現在廃屋。



目無地藏
への看板

(7) 長野峠

(津市美里町平木～伊賀市上阿波)



10 菊山九園句碑



9 松尾芭蕉句碑



8 松尾芭蕉句碑



6 長野峠古道



5 長野峠
天正9年(1579)、織田信雄が松ヶ島城から、伊賀攻略に通った峠。伊勢国と伊賀国の国境。



3 供養塔
犬塚横 天保5年(1834)と刻まれている。



2 地藏尊
犬塚横 天保5年(1834)と刻まれている。



1 犬塚(義犬塚)
よく慣れていたはずの犬が吠えかかってきたので、飼い主がその首を切り落としたところ、犬の首はそのまま背後にいた大蛇に噛みつき、飼い主を救ったという義犬伝説が残る。



(8) 上阿波

(伊賀市上阿波汁付～平松)



7 別府城跡
川をへだてた安岡氏城とともに、天正7年(1579)9月、織田信雄と伊賀土豪連合軍との激戦があったところ。



6 道標
街道沿いから旧慈眼寺境内へ移設。慶応3年(1867)と刻まれている。



5 手水鉢
正徳4年(1713)と刻まれている。



4 旧慈眼寺
境内には江戸品川の遍光寺寄進の手水鉢(正徳4年)がある。



9 天眞大御神
平松宿の入口、国道163号との分岐点にある。



8 安岡氏城跡



3 弁天堂
三重交通車庫裏、元は猿蓑塚の少し上の方にあったが、昭和の始めごろに移された。



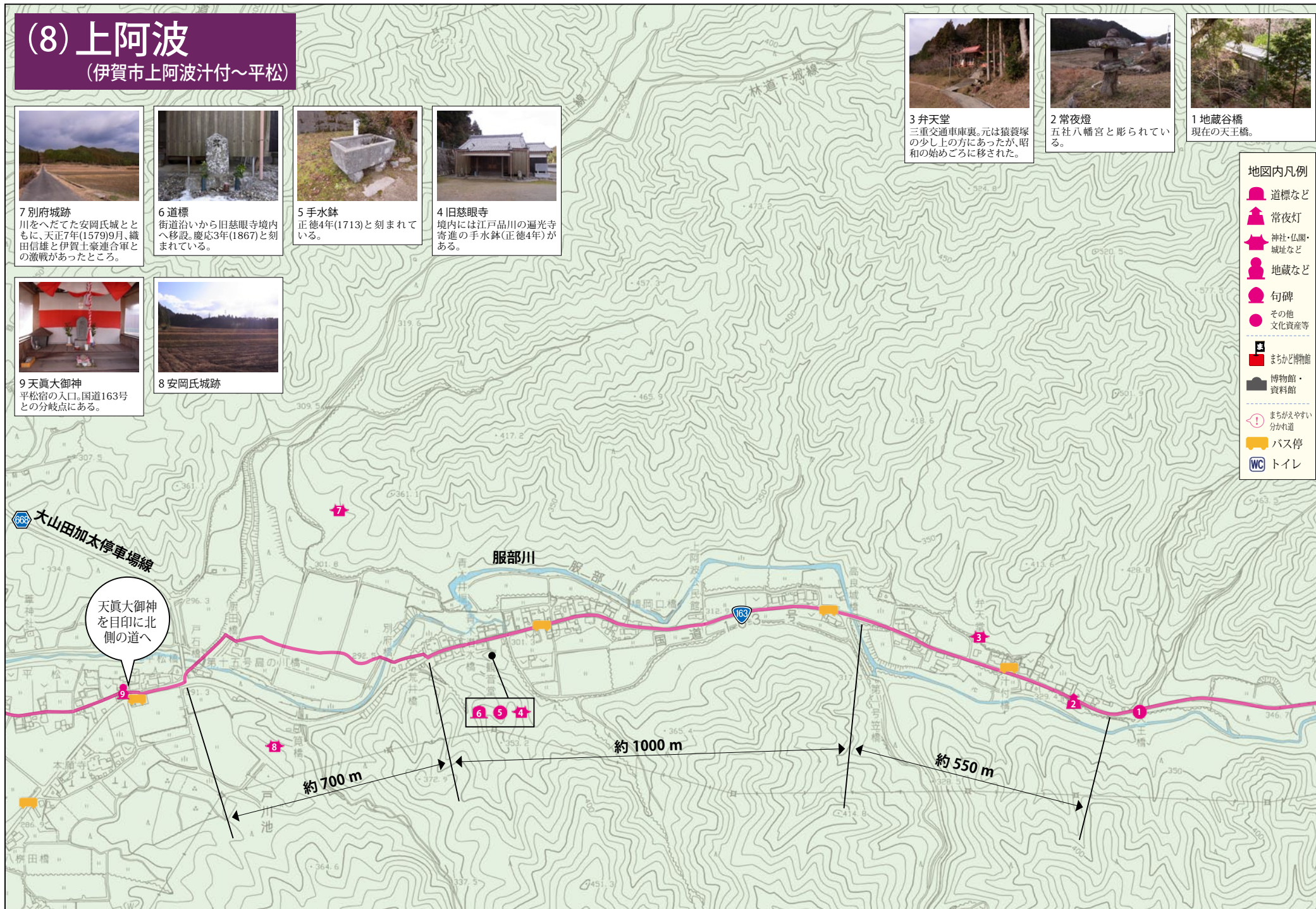
2 常夜燈
五社八幡宮と彫られている。



1 地藏谷橋
現在の天王橋。

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地藏など
- 句碑
- その他文化遺産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ



(9) 平松宿

(伊賀市上阿波平松～下阿波)



14 松尾芭蕉句碑



13 自然石の道標
大橋茶屋跡。「右京なら大坂道」正面は「南無阿彌陀仏」



12 祠



11 平岩の渡し瀬



18 祠



17 祠
昔武士の争いがあり、その供養のために祀られている。



16 カギヒキ
山の神の上。毎年1月の山の神カギヒキ行事に使う藁が掛けられている。



15 山の神3基



20 山里ひろば



19 道標
「右なら道」

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ



4 家なみ
平松宿のおもかげを残している。



3 「いたや」の瓦
御宿いたや、七福神・鯉大橋茶屋をかたどった瓦。



2 旅籠屋「いたや」
現在空き家。



1 常夜燈
公民館前。慶応2年(1866)



8 伊藤柏翠句碑



7 松尾芭蕉句碑



6 新大仏寺
重源上人創建。(建仁2年/1202)。宝梁比丘再建(寛政元年/1748)。真言宗。本尊は快慶作の丈六金色阿彌陀如来三尊像。後に、その頭部を京仏師祐慶が坐像に彫造し直した。境内に芭蕉句碑「丈六に 陽炎高し 石の上」がある。大仏殿は伊賀市指定文化財。



5 阿波大仏の道標
自然石の道標。



10 須原のお地藏さん



9 トモエ木工博物館

約 450 m

約 600 m

約 1100 m

約 700 m

(10) 広瀬・川北

(伊賀市下阿波～川北)



8 木の館 豊寿庵



1 南無妙法蓮華經の碑
昔、椎の木岩といと呼ばれた難所(現在の採石場)の近く。



3 廣徳寺
曹洞宗。本尊・南無釈迦牟尼
仏は県指定文化財。



4 南無釈迦牟尼仏



2 櫛の太木

3 4
5 6 7

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ



7 うすさま明王



6 七観音



5 阿弥陀如来

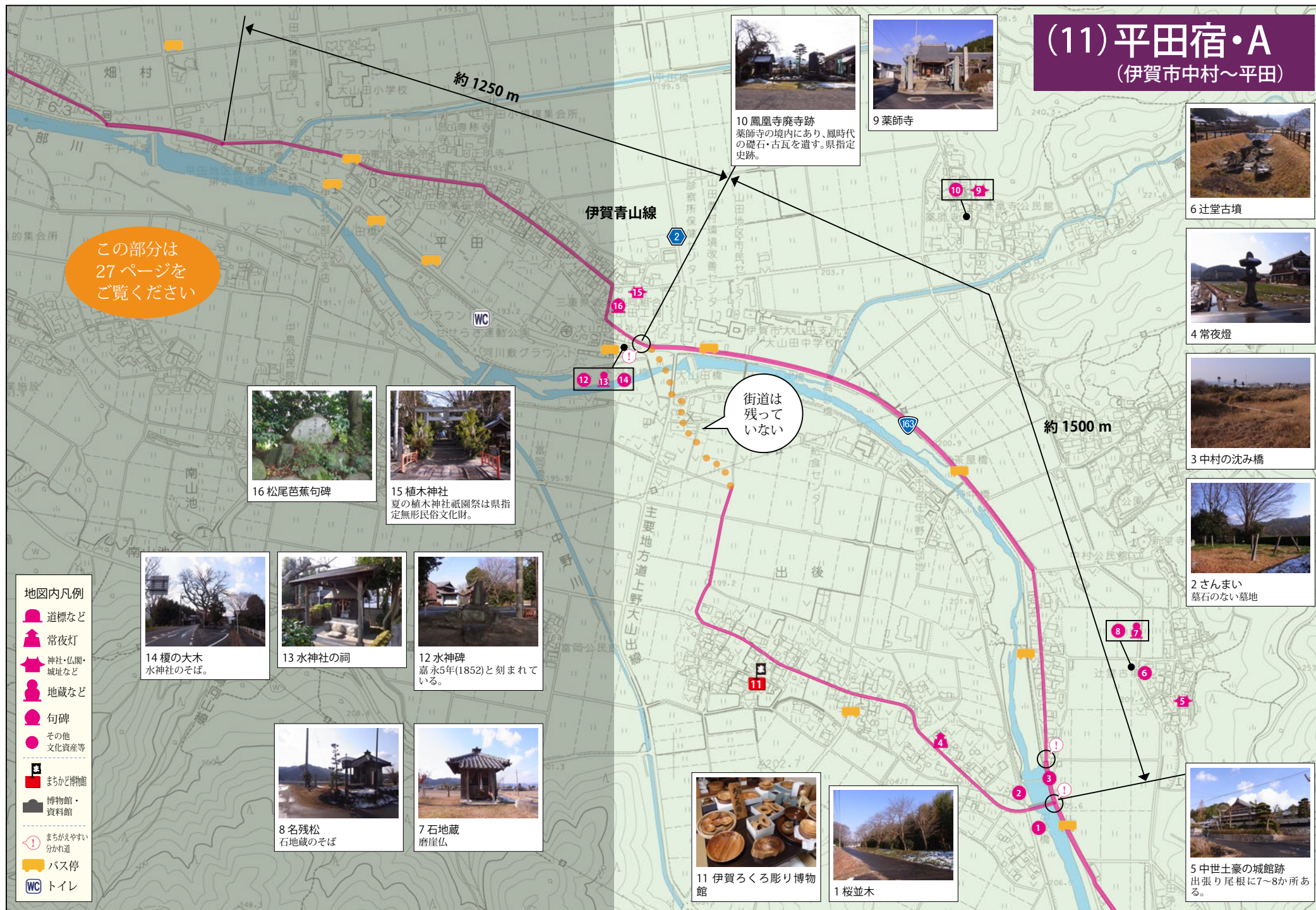
約 900 m

約 1200 m

約 400 m

約 1200 m

林道三谷口線



(11) 平田宿・B (伊賀市平田)

この部分は
24 ページを
ご覧ください

約 1250 m

約 1500 m

伊賀青山線



1 東町だんじり小屋
植木神社隣。祇園祭のだんじりを収納している。



3 古い屋号の家(つばや)
お菓子屋。祇園祭の時期にはせえくろ餅を作る。



2 連子格子の家



7 梅家博物館



6 津島神社
札の辻のところにある小さな神社。



5 札の辻
町の中央部あたり。道が鍵の形になっている。



4 家なみ
古い屋号の家が続く。



11 せせらぎ運動公園の
園内にあるソウ・ワニの足跡化石



10 八王子社跡
西町だんじり小屋の近く。現在は植木神社に合祀されており、祇園祭の時のお旅所になっている。



9 西町だんじり小屋
特徴的な瓦模様。



8 伊山銀行本店跡

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ

(12) 中之瀬

(伊賀市畑村～中之瀬)



6 さんまい
墓石のない墓地



5 大燈籠
県道の復旧を記念し、千戸の
県道端に建てられた。



3 化石を含んだ地層
服部川川岸。はるか古代、こ
のあたりには古琵琶湖があり、
その地層からゾウやワニ
の足跡が発見された。



2 水神碑
碑の四方を縄で囲んであ
る。



1 大木
集落の入口



19 中之瀬から荒木へ通
じる街道



9 中之瀬から荒木へ通
じる街道



10 目明かし地藏
眼病の願掛け地藏。磨崖仏。
江戸末期～明治



8 お地藏さん
勧請縄の下。



7 勧請縄
千戸の入口。疫病の集落への
進入を防ぐ意味がある。



4 川沿いを進む街道



14 持錫地藏立像
大正時代に大阪の西崎平蔵
が寄進。磨崖仏。



13 普賢菩薩



12 地藏立像



11 文殊立像
学業成就の神様。おでこが広
い。磨崖仏。



18 弥勒坐像
磨崖仏。



17 八幡宮と刻まれた岩



16 太神宮岩
「太神宮□□□」と刻まれて
いる。



15 肉薄彫釈迦立像
大正時代の磨崖仏。

P30
子売り地藏
へのルート

かつては
簡単な橋がか
かっていた
という

約 950 m

約 650 m

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・
城址など
- 地藏など
- 句碑
- その他
文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・
資料館
- まちがえやすい
分かれ道
- バス停
- トイレ

(13) 荒木・A (伊賀市荒木)



11 北向地藏
鎌倉時代のもの。大光寺への
参道途中にある。



9 常夜燈
子売り地藏の前。



8 子売り地藏
赤ちゃんの無病息災を願う
地藏として崇められてい
る。中尊は阿彌陀如来立像、
右は線刻地藏立像、左は線刻
不動明王。伊賀市指定文化
財。



13 道標
大光寺への参道の途中。「右
だいし道」



12 お地藏さん



10 大光寺
岡山の中腹にある。中世末の
山伏の根拠地。



2 小石仏三基

室町時代末期のもので、右から
「ア」「ウン」「パン」の種子
が彫られている。



1 山伏淵

かつては底なし淵として恐
れられたが、後に岩石の捨て
場となった。現在は瀬川。

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・
城址など
- 地藏など
- 句碑
- その他
文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・
資料館
- まちがえやすい
分かれ道
- バス停
- トイレ

この部分は
33 ページを
ご覧ください

約 900 m

約 650 m



7 荒木石の石きり場



6 三体地藏



5 本尊と六地藏



4 六地藏



3 小石仏一基
室町時代末期に作られたも
の。

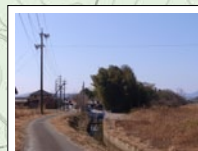
(13) 荒木・B (伊賀市荒木～西明寺)



10 大釜地藏(複製)
記念碑の隣。延命地藏尊として
信仰されている。



9 太神宮常夜燈
元は中之瀬峡にあった。



4 荒木又右衛門出生伝承地
集落に入って北側の竹藪。



3 松尾芭蕉句碑



2 巨大な燈籠
須智荒木神社境内



1 須智荒木神社
通称白髭さん。



6 荒木集落の中を流れる
川



5 家なみ
そばを川が流れている。

かつては
渡り瀬
だった

約 900 m

約 650 m

この部分は
30 ページを
ご覧ください



13 山の神



12 服部土芳句碑



11 荒木又右衛門誕生記
念碑



8 大釜地藏
元は江戸期の寺田橋の南詰
東側にあった。現在上荒木地
福寺。



7 上荒木地福寺

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地藏など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがやすい分かれ道
- バス停
- トイレ

(14) 上野 (伊賀市西明寺)

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化遺産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ



16 北向水掛地藏尊



17 城山地蔵尊



4 延命地藏尊
御旅所の前。



3 上野菅原神社の御旅所
毎年10月25日には、上野天神祭の華麗な行列や山車の出発点になる。



2 子安地藏尊
常夜燈のそば。



1 太神宮常夜燈
寛政11年(1769)と刻まれている。



12 故郷塚
愛染院境内にあり、芭蕉の遺髪を祀る。伊賀市指定史跡。



11 愛染院



9 菅野酒造
杉玉がかかる。



13 小澤製菓 忍者かたやき博物館

街道は
なくなって
いる。



5 アトリエ星&ギャラリー878



7 滝本酒造



6 職人氣質の時計屋さん
谷口時計店



8 連子格子・虫籠窓の家



15 木工房「創作盆景」



10 牛繫ぎ石
菅野酒蔵の前。



14 アトリエキャンディ

くれば水辺公園、
上野公園周辺、
市街には多くの
句碑があります